

平成30年度全国中学校体育大会 第56回全国中学校スキー大会  
クロスカントリー競技【十日町市会場】医療・救護要項

本大会に参加する選手団（選手・監督・コーチ・引率者）及び一般観覧者並びに大会運営に従事する者に対する医療・救護に万全を期するため、次のとおり基本的な事項を定める。

1 基本的事項

本大会実行委員会は、医療機関・保健所・消防署等と十分な連絡調整を行い、密接な連携のもとに業務を遂行するものとする。

- (1) 医療機関へは、「保険証」を必ず携行し、都道府県の責任者または監督・引率者が付き添うものとする。
- (2) 医療機関での受診に要する費用は、すべて受診者の負担とする。  
救護所での災害発生記録票等は救護担当者が対応説明とともに監督、引率者へ直接渡す。
- (3) 必要に応じて救急自動車を要請する。

2 救護所における救護

(1) 救護所の設置

大会期間中下記の会場に救護所を設置する。

①開始式会場：十日町市越後妻有文化ホール「段十ろう」 【2月4日（月）のみ設置】

②競技会場：十日町市吉田クロスカントリー競技場 【設置期間：2月1日（金）～7日（木）】

- (2) 救護所には医療・救護係（養護教諭・救急救命士・競技役員等の救護員）を配置する。
- (3) 救護所では、応急処置のみ行うものとし、必要に応じて医療機関に移送する。
- (4) 救護所には応急処置に万全を期するため、AED・医薬品・医療器具・その他必要な物品を備えるものとする。

【AED設置場所】

① 開始式会場：十日町市越後妻有文化ホール「段十ろう」2階

② クロスカントリー競技会場：クロスカントリー競技会場スタジアム内救護所

- (5) 救護所が未開設時の練習中などに負傷発病した場合は、競技会場の係員等に申し出ること。

3 宿舎等における医療及び救護

宿泊する施設等で発病または負傷し、医療機関で受診する場合は、宿舎に申し出た上、速やかに都道府県の責任者または監督・引率者が最寄りの医療機関と連絡を取り受診するものとする。

受診結果は様式②「病院受診報告書」にて大会事務局に報告すること。

4 インフルエンザ・感染性胃腸炎等の情報提供及び、その対応

最新の流行情報を提供し、国や県・市町村などの対策に則って対応する。感染拡大予防のため、参加校の監督や引率者は体温を測るなどの健康観察を行い、異常があると思われる場合には様式①「健康観察記録票」に記録し、8：00までに競技会場救護所に提出するものとする。

5 医療機関 ※別紙①「医療機関一覧表」を参照のこと。

6 事故発生時の対応について

- (1) 大会関係者の事故の対応については、大会事務局を中心に、医療・救護班及び競技委員長がその対応に当たる。

(2) 窓口は医療・救護班とし、状況によっては事務局担当者がその対応にあたる。

(3) 事故発生時の対応

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故者の生命・安全確保を第一とし、救護所または医療機関へ搬送し、治療を受けさせる。 【対応者：引率者、都道府県責任者】</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故者の状況は、大会事務局に電話、またはFAXで報告する。（第1報） さらに当該校の校長に報告する。 【対応者：引率者、都道府県担当者】</li> <li>・クロスカンントリー事務局へ、診察（治療）経過および結果を報告する。（第1報） 【対応者：引率者、都道府県担当者】</li> <li>・当該校へ報告する。必要に応じ当該市町村教育委員会教育長へ報告する。（第1報） 【対応者：引率者または各都道府県選手団団長】</li> </ul> <p>※上記の項目については、その後の経過を第2報、第3報として報告する。</p>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ報告する。 【対応者：引率者または校長】</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、外部との対応にあたる。【対応者：競技委員長、クロスカンントリー事務局】</li> <li>・さらに事故対策本部が必要な場合は、大会実行委員会に設置し、関連部局との連絡調整と外部との対応にあたる。【対応者：実行委員会事務局長、クロスカンントリー事務局】</li> </ul>

市実行委員会 医療・救護班

宿舎	開始式会場	競技会場
各都道府県宿舎	十日町市越後妻有文化ホール「段ろろう」	十日町市吉田クロスカンントリー競技場
各都道府県監督 または引率者	医療・救護班 クロスカンントリー事務局長	競技委員長 医療・救護班 自衛隊救護担当者

7 事故対応に関する周知徹底・報告

- (1) 2月4日（月）の監督会議において周知する。
- (2) 事前に宿泊・昼食班を通じて宿舎に依頼・周知を図る。
- (3) 大会関係者は、事故の未然防止に万全を期し、無理のない参加体制や練習体制を構築するものとする。加えて、季節性のインフルエンザや感染性胃腸炎の感染防止に努める。なお、選手団は、別紙②「インフルエンザ・感染性胃腸炎対策について」を参照し、予防に努め、適切に対応すること。
- (4) 負傷、発病発生時の対応等については、別紙③「医療・救護連絡系統図」を参照する。
- (5) 医療機関を受診した場合は、様式②「病院受診報告書」を、感染症や食中毒と診断された場合は、様式③「感染症等罹患届書」をクロスカンントリー事務局携帯電話ならびに文書にて報告するとともに、宿舎にも報告すること。
- (6) 緊急の負傷や発病により救急自動車等で搬送された場合は、大会事務局に直ちに電話で報告するとともに、状況を様式④「緊急患者発生速報」に記入し、クロスカンントリー事務局携帯電話ならびに文書にて報告すること。
- (7) 大規模地震など、自然災害発生時の対応については、「災害時緊急対応要項」を参照する。

※十日町地域消防署【Tel 025-757-0119】

※救急要請【119番】

※十日町警察署【Tel 025-752-0110】

※緊急【110番】

## 8 添付書類

### 『別紙』

別紙①医療機関一覧表

別紙②インフルエンザ・感染性胃腸炎対策について

別紙③医療・救護連絡系統図

### 『様式』

様式①「健康観察記録票」・・・大会期間中午前8時までにクロスカントリー会場救護所に提出。

様式②「病院受診報告書」・・・医療機関を受診した場合、クロスカントリー会場救護所に提出。

様式③「感染症等罹患届出書」・・・医療機関を受診し、感染症と診断された場合、クロスカントリー事務局携帯に一報を入れ、救護所に用紙を提出。

様式④「緊急患者発生速報」・・・救急車両等で緊急に医療機関を受診した場合、クロスカントリー事務局に一報を入れ、救護所に用紙を提出。